

本邦「ソヴィエト」聯邦大使館附空軍武官輔佐官陸軍中佐「ミカエル・ロマノフ」(Michael Romanov)ハ六月二十二日著任セル旨同大使館ヨリ七月七日附口上書ヲ以テ通知アリタリ  
 ○在本邦滿洲國大使館書記官著任 在本邦滿洲國大使館一等書記官上田正平ハ六月二十八日並ニ二等書記官大隈正明ハ六月二十九日夫々家族同伴著任セル旨同國大使ヨリ七月十日附書翰ヲ以テ通知アリタリ  
 ○在本邦丁抹國公使館書記官離任 在本邦丁抹國公使館書記官「アルデンセルン」ハ六月三十日上海出張ノタメ一時離京セル旨同公使館ヨリ同日附口上書ヲ以テ通知アリタリ  
 ○在本邦滿洲國大使館二等書記官著任 在本邦滿洲國大使館二等書記官岡良造ハ今般離任シ同後任トシテ二等書記官神下勝ハ七月五日著任セル旨同國大使ヨリ七月十日附書翰ヲ以テ通知アリタリ  
 ○在本邦佛蘭西國大使館附陸軍武官離任 在本邦佛蘭西國大使館附陸軍武官陸軍少佐「エマニエル・フルーテン」ハ六月二十五日陸軍中佐ニ陞任セル旨同國大使ヨリ六月二十九日附書翰ヲ以テ通知アリタリ  
 ○臺北駐在中華民國副領事陞任 在臺北中華民國總領事館隨習領事李宗堯ハ今般副領事ニ陞任シ又新任隨習領事廉樹森ハ既ニ著任セル旨同國大使ヨリ七月十六日附書翰ヲ以テ通知アリタリ  
 ○在本邦瑞典國公使館書記官離任 在本邦瑞典國公使館書記官「ヨハン・ヒョグツベルグ・ノルドランド」(John Högqvistberg-Nordland)ハ今般書記官ニ陞任セル旨同國公使ヨリ七月二十日附書翰ヲ以テ通知アリタリ

敘任及辭令

○昭和十五年四月三十日  
 用濟ニ付囑託ヲ解ク  
 外務省囑託 柏谷 淺吉

○昭和十八年六月三十日  
 外務省事務ヲ臨時囑託ス 渡邊 敏子  
 調査局第四課勤務ヲ命ス 渡邊 敏子  
 ○昭和十八年七月二日  
 外務省臨時囑託 深井 龍雄  
 (各通) 大使館三等書記官 卜部 敏男  
 外務省語學校へ入學ヲ命ス(英語)  
 ○昭和十八年七月三日(海軍省)  
 任海軍書記 給四級俸 外務書記生 淺井 武男  
 南西方面海軍政府附ヲ命ス 海軍書記 淺井 武男  
 ○昭和十八年七月十二日  
 外務省雇ヲ命ス 月俸三十二圓給與 外務省雇 白石 治子  
 調査局第四課勤務ヲ命ス 外務省雇 白石 治子  
 ○昭和十八年七月十五日(内閣)  
 任情報局情報官 敍高等官五等 外務事務官 稻垣 一吉  
 ○昭和十八年七月十五日  
 情報局情報官 稻垣 一吉  
 四級俸下賜 情報局第三部對外報道課勤務ヲ命ス  
 外務省雇ヲ命ス 月俸三十四圓給與 外務省雇 中村 英子  
 大臣官房文書課勤務ヲ命ス 外務省雇 中村 英子  
 ○昭和十八年七月十六日(内閣)  
 任副領事 敍高等官七等 外務書記生 田淵 繁一  
 ○昭和十八年七月十六日  
 副領事 田淵 繁一  
 賜七級俸 「ベトバウロフスク」在勤ヲ命ス  
 外務省雇ヲ命ス 月俸三十四圓給與 外務省雇 柳川 好子  
 大臣官房電信課勤務ヲ命ス 外務省雇 柳川 好子  
 ○昭和十八年七月十七日  
 領事 近藤 晋一  
 大臣官房電信課勤務ヲ命ス 外務省雇 柳川 好子  
 (各通) 大使館三等書記官 卜部 敏男  
 北海道へ出張ヲ命ス

任外務通譯生 給七級俸 金丸 甲一  
 浦潮斯德在勤ヲ命ス 外務通譯生 金丸 甲一  
 歸朝ヲ命ス 外務書記生 大西 靜夫  
 ○昭和十八年七月十九日(内閣)  
 任領事 敍高等官四等 陸軍司政官 朝日五十四  
 ○昭和十八年七月十九日 領事 朝日五十四  
 賜三級俸 浦潮斯德在勤ヲ命ス  
 ○昭和十八年七月十九日 領事 朝日五十四  
 獨國在勤ヲ命ス  
 (各通) 副領事 菅 良  
 外務省囑託 大川 健純  
 同 中尾 健  
 「クイヴィシエフ」へ出張ヲ命ス 外務省雇 秋本 周子  
 依願雇ヲ免ス  
 ○昭和十八年七月二十日(内閣)  
 任特命全權大使 從三位勳二等 澤田 廉三  
 「ピルマ」へ出張被仰付 特命全權大使 澤田 廉三  
 任陸軍司政官 敍高等官七等 外務書記生 濱口 進平  
 ○昭和十八年七月二十日(陸軍省) 陸軍司政官 濱口 進平  
 十一級俸下賜 補「ジャバ」軍政監部附  
 ○昭和十八年七月二十日  
 用濟ニ付囑託ヲ解ク 外務省囑託 澤田 廉三  
 山形縣へ出張ヲ命ス 大使館參事官 宮川 船夫  
 (各通) 外務書記官 松井 明  
 同 朝海浩一郎  
 京都府へ出張ヲ命ス 大使館商務書記官 中島 正彌  
 北海道へ出張ヲ命ス 外務省囑託 神戶 政彌  
 依願囑託ヲ解ク 外務書記生 藤田 守  
 歸朝ヲ命ス(一時)

○昭和十八年七月二十二日(内閣)  
 正三位勳二等 有田 八郎  
 (各通) 從三位勳一等 山川 端夫  
 外務省外交顧問被仰付  
 ○昭和十八年七月二十二日(海軍省)  
 任海軍書記 給六級俸 外務書記生 小濱 正助  
 ○昭和十八年七月二十二日  
 外務省雇ヲ命ス 月俸四十七圓給與 外務省雇 大兼 慶子  
 條約局第二課勤務ヲ命ス 外務省雇 大兼 慶子  
 ○昭和十八年七月二十三日  
 (各通) 外務書記官 法華津孝太  
 大阪府へ出張ヲ命ス 大使館二等通譯官 有山 逸郎  
 (各通) 外務書記官 寺崎 英成  
 外務書記官 高田 實  
 京都府及愛知縣へ出張ヲ命ス 公使館三等書記官 木村 隆  
 歸朝ヲ命ス 外務事務官 松本 鶴治  
 (昭和十八年五月六日) 外務事務官 青留 政雄  
 (昭和十八年六月三日) 外務通譯生 岩谷 宗次  
 (昭和十八年七月五日) 外務書記生 赤羽 保  
 昭和十八年三月二十日勅令第三百三十九號ニ依リ(各頭書ノ日附) 定員外職員ト爲リタリ  
 (各通) 外務省囑託 中村 成之  
 同 西川 雄三  
 同 佐藤 雄三  
 用濟ニ付囑託ヲ解ク  
 ○昭和十八年七月二十四日  
 調査局第一課勤務ヲ命ス 外務事務官 張 澈壽  
 條約局第一課勤務ヲ命ス 條約局第二課兼勤ヲ命ス 須山 達夫

「オハ」在勤ヲ命ス  
 歸朝ヲ命ス  
 ○昭和十八年七月二十四日  
 外務省事務ヲ囑託ス  
 從五位勳四等 相場 清  
 外務省事務ヲ命ス 月俸三十四圓給與  
 外務省事務ヲ命ス 外務省事務  
 大臣官房電信課勤務ヲ命ス 鹽路カズ子  
 ○昭和十八年七月二十七日(大東亞省)  
 哈爾濱在勤ヲ命ス 領事 太田日出雄  
 ○昭和十八年七月二十七日  
 千葉縣へ出張ヲ命ス 外務省事務官 福島慎太郎  
 調査局第四課勤務ヲ命ス 外務省囑託 長谷川進一  
 ○昭和十八年七月二十八日(内閣)  
 任外交官補 敘高等官七等 外務書記生 都倉 榮二  
 ○昭和十八年七月二十八日  
 獨國在勤ヲ命ス 外交官補 山中 俊夫  
 賜六級俸「フィンランド」國在勤ヲ命ス 同 都倉 榮二  
 北海道へ出張ヲ命ス 特命全權公使 宮崎 申郎  
 福井縣へ出張ヲ命ス 外務事務官 曾野 明  
 同 佐藤 彰三  
 同 外務局 四本 忠仁  
 同 五十嵐 仁  
 (各通)  
 歸朝ヲ命ス  
 滿洲國及中華民國へ出張ヲ命ス 外務事務官 張 澈 壽  
 ○昭和十八年七月二十九日(宮内省)  
 獨逸國政府ヨリ贈與シタル「グロースクロイツ、アーデル」勳章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル  
 ○昭和十八年七月二十九日(内閣)  
 新聞雜誌用紙統制委員會幹事ヲ囑託ス 外務書記官 太田 三郎

新聞雜誌用紙統制委員會幹事ヲ囑託ス 外務事務官 小川清四郎  
 兵庫縣へ出張ヲ命ス 外務書記官 朝海浩一郎  
 ○昭和十八年七月二十九日  
 外務省事務ヲ命ス 月俸七十圓給與  
 外務省事務ヲ命ス 外務省事務官 矢澤 信行  
 ○昭和十八年七月三十一日(内閣)  
 關稅調查委員會幹事被仰付 外務書記官 原 啓  
 關稅調查委員會幹事被仰付 同 法華津孝太  
 ○昭和十八年七月三十一日  
 大阪府及鳥取縣へ出張ヲ命ス 外務事務官 高瀬 侍郎  
 普通試驗委員ヲ免ス 領事 本多 隆平  
 (各通)  
 外務書記生試驗並外務省留學生試驗臨時委員ヲ免ス 外務省囑託 高柳錠太郎  
 外務省事務ヲ囑託ス 月手當七十圓支給 外務省囑託 石井 省三  
 大臣官房會計課勤務ヲ命ス 外務省囑託 石井 省三  
 大臣官房會計課勤務ヲ命ス 外務書記生 代田 守  
 文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス 休職外務書記生 坂井 砂治  
 復職ヲ命ス 外務書記生 坂井 砂治  
 「オハ」在勤ヲ命ス 大臣官房人事課臨時勤務ヲ命ス 外務省事務官 白井 良子  
 外務省事務ヲ命ス 月俸四十圓給與 外務省事務官 白井 良子  
 通商局第三課勤務ヲ命ス 外務省事務官 白井 良子  
 任外務局 給月俸七十圓 外務局 濱中 季一  
 大臣官房人事課勤務ヲ命ス 外務局 濱中 季一  
 囑託ヲ解ク 外務省囑託 濱中 季一  
 外務省事務ヲ囑託ス 橫濱高等商業學校教授 光井武八郎

(各通)  
 外務省事務ヲ囑託ス 月手當五十一圓支給 外務省事務官 飯野 和子  
 同 外務省囑託 今井 幸  
 (各通)  
 調査局第一課勤務ヲ命ス 外務書記生 菊池 万清  
 任外務局 給六級俸 外務局 菊池 万清  
 任外務局 給月俸七十圓 外務書記生 小玉 虎一  
 大臣官房會計課勤務ヲ命ス 外務局 小玉 虎一  
 ○昭和十八年七月三十一日  
 自今月手當ヲ支給セズ  
 一三〇圓 同 田中文一郎  
 一二〇圓 同 坂久五郎  
 九〇圓 同 今岡十一郎  
 八五圓 同 米内山庸夫  
 八〇圓 同 島田 正靖  
 四五圓 同 中谷 正造  
 四〇圓 同 石井 太郎  
 三五圓 同 二上 英治  
 三〇圓 同 野田 福雄  
 二五圓 同 岡村 和子  
 二〇圓 同 山路 廣明  
 一五圓 同 栗林 種一  
 一〇圓 同 谷川 福次郎  
 七圓 同 奥田 一男  
 六圓 同 横山 一男  
 五圓 同 増田 由喜  
 四圓 同 矢部 寛而  
 三圓 同 杉 俊子  
 自今月手當(頭書ノ通)圓支給

(各通)  
 依願雇ヲ免ス  
 外務省事務ヲ命ス、月俸三十二圓給與  
 外務省事務ヲ囑託ス  
 條約局第一課勤務ヲ命ス  
 依願雇ヲ免ス  
 ○昭和十八年七月三十一日

三四圓 外務省事務官 藤本 文夫  
 四二圓 同 工藤 與一  
 四二圓 同 林 義  
 四二圓 同 鬼頭イヅコ  
 四二圓 同 鷲山 守雄  
 四二圓 同 白石 榮助  
 四二圓 同 武藤 大助  
 四二圓 同 阿部 丑次郎  
 四二圓 同 渡邊 敦雄  
 四二圓 同 岩崎 茂  
 四二圓 同 松澤 純一  
 四二圓 同 本保 修正  
 五二圓 同 石川 明利  
 五一圓 同 今泉 昌芳  
 五一圓 同 吉田 治平  
 五一圓 同 齋藤 爲則  
 五一圓 同 山田 周政  
 三八圓 同 佐谷 キヨ

依願雇ヲ免ス  
 外務省事務ヲ命ス、月俸三十二圓給與  
 外務省事務ヲ囑託ス  
 條約局第一課勤務ヲ命ス  
 依願雇ヲ免ス  
 ○昭和十八年七月三十一日

三四圓 外務省事務官 藤本 文夫  
 四二圓 同 工藤 與一  
 四二圓 同 林 義  
 四二圓 同 鬼頭イヅコ  
 四二圓 同 鷲山 守雄  
 四二圓 同 白石 榮助  
 四二圓 同 武藤 大助  
 四二圓 同 阿部 丑次郎  
 四二圓 同 渡邊 敦雄  
 四二圓 同 岩崎 茂  
 四二圓 同 松澤 純一  
 四二圓 同 本保 修正  
 五二圓 同 石川 明利  
 五一圓 同 今泉 昌芳  
 五一圓 同 吉田 治平  
 五一圓 同 齋藤 爲則  
 五一圓 同 山田 周政  
 三八圓 同 佐谷 キヨ

依願雇ヲ免ス  
 外務省事務ヲ命ス、月俸三十二圓給與  
 外務省事務ヲ囑託ス  
 條約局第一課勤務ヲ命ス  
 依願雇ヲ免ス  
 ○昭和十八年七月三十一日

三四圓 外務省事務官 藤本 文夫  
 四二圓 同 工藤 與一  
 四二圓 同 林 義  
 四二圓 同 鬼頭イヅコ  
 四二圓 同 鷲山 守雄  
 四二圓 同 白石 榮助  
 四二圓 同 武藤 大助  
 四二圓 同 阿部 丑次郎  
 四二圓 同 渡邊 敦雄  
 四二圓 同 岩崎 茂  
 四二圓 同 松澤 純一  
 四二圓 同 本保 修正  
 五二圓 同 石川 明利  
 五一圓 同 今泉 昌芳  
 五一圓 同 吉田 治平  
 五一圓 同 齋藤 爲則  
 五一圓 同 山田 周政  
 三八圓 同 佐谷 キヨ

一四五〇圓 外務省囑託 家永 正章  
一一〇〇圓 西村 孝次  
七五〇圓 的場 勇夫  
七五〇圓 岡本 三郎  
八五〇圓 笠原 三郎

自今月手當(頭書ノ通)圓支給

四〇〇圓 外務省雇 一圓 博之  
四〇〇圓 奧 昇三郎  
四〇〇圓 長谷川 章吉  
四〇〇圓 一圓 一男  
四〇〇圓 田中 光久  
四〇〇圓 池田 梅子  
四〇〇圓 山口 梅子  
三六〇圓 伊藤 和子  
三六〇圓 牧田 和子  
五六〇圓 同 同

(各通)

自今月俸(頭書ノ通)圓給與

外務省囑託 池田メリー、ハナコト  
右者昭和十八年七月二十二日附「池田メリー、ハナコト」氏名訂正方願出アリタリ

右者昭和十五年十一月二十七日死亡セリ

外務省囑託 山田 彰

雑報

○外務省語學校記事

本校第一學期終了ニ際シ七月二十八日附ヲ以テ岸校長ヨリ各生徒ニ對シ左ノ通訓達アリタリ  
曩ニ省員語學水準昂揚ノ爲外務省語學校ノ創設セララルヤ一同良ク上司ノ存意ヲ諒解シ、或ハ命令ニ依リ、或ハ

○一元文庫利用狀況

當文庫七月ノ利用狀況ハ左ノ如シ  
○一元文庫、局課別貸出統計表 (昭和十八年七月)

Table with columns for department (局課), number of books (冊), and number of borrowers (訪來者). Rows include various departments like 秘書課, 文書課, 會計課, etc.

各自ノ熱心ナル希望ニ依リ欣然修學ノ途ニ就キ爾來益々隆盛ヲ見、今日既ニ英、佛、獨、露、支ノ五箇國語各級ヲ通シテ學級數二八、生徒數延人員四二六名ニ達スルノ盛況ヲ告クルニ至レルハ眞ニ同慶ノ至リナリ。  
今ヤ七月、省員各位ノ熱誠ニ茲ニ第一學期ヲ終講シ、八月ハ休講、九月ヨリ第二學期ノ授業ヲ開始セントス、既ニ開講ノ辭ニモ謂ヘルガ如ク秋水無鏡ハ武士ノ誇、生徒各位ヨク時局ノ重大性ヲ認識シテ益々語學ノ鍊磨ヲ念トシ以テ他日ノ活躍ニ備ヘサルヘカラス、來ルヘキ第二學期ニ於テハ益々激烈タル意氣ト執意トヲ以テ修學ニ勵マレンコトヲ希望スル次第ナリ。

○職員住所留守宅變更

都司 智磨 淀橋區本町通一ノ三  
桑折 鐵次郎 杉並區和泉町四二二  
淺井 順一 世田谷區上北澤町三ノ一六  
濱口 進平 京橋區木挽町三ノ一三、小俣幸方  
江村 元則(留)高知市新屋敷一四八、江村繁太郎

○霞關會入會者

本年七月中霞關會入會者氏名(敬稱略)及住所左ノ如シ  
福島 昇 東京都麻布區三軒屋町四一、厚芝方  
田淵 繁一 埼玉縣浦和市本太二一三(政三)  
川添政太郎 東京都麻布區本村町二二(三田〇三八二)(居留民事務部)

○霞關會々員住所變更

本年七月中霞關會ニ通報アリタル會員ノ住所變更左ノ如シ  
郡司 智磨 住 東京都淀橋區本町通一ノ三(中野七五二七)(電)  
井手 清見 住 中華民國上海市江西路二〇九號共同租界工部局

圖書受入

Table listing book titles and authors, such as 'The Great Migration. London, 1932.' by Lee, J. F., and 'China Facts Fancies. Shanghai, 1936.' by Wang Ching-Wei.